



京都社会人大学校

北近畿校通信

第 65 号 2025 年 10 月

北近畿校運営委員会

事務局発行

☎080-2511-1751

なんやかんやと言いながらも秋らしく…

夏の猛暑から、朝夕ずいぶん涼しくなってきました。体調を崩しやすい季節です。お気を付けください。9月の時事問題講座で「薬を服用する時の7つの約束」という資料がありました。ぜひ他講座のみなさんにも、という訳で掲載します。守ってくださいね！

薬を服用する時の7つの約束

- ①毎日決まった時間に服用します。
- ②服用量を守ります。
- ③病気が治ったと思って決められた日まで服用し続けます。
- ④他の人からもらって服用したりしません。
- ⑤他の人に自分の薬をあげたりしません。
- ⑥前の病気の時にもらった薬は使いません。
- ⑦薬はいつもきちんと整理して保管します。

11月時事問題講座のテーマ

アンケートの結果、

「気候変動問題」に決定。講師は、元気象台予報官川邊昭治氏です。

会場（変更）確認のお願い

講座の会場を確保するのが大変困難になっています。変更などは前月までにこの通信でお知らせできるように努力していますが、欠席などで通信を受け取れなかったなどの場合は、HPを確認するか、事務局（☎は↑）へ確認をお願いします。

9月の各講座の概要と、ひとこと感想から

（感想は一部を抜粋したのもあります。ご了承ください）



大変分かりやすい声で、わかりやすく話していただき、ありがとうございました。大変よくわかりました。OTC問題は少し違う意見を持っています。

私はサプリメントを一切利用しませんが、それでいいと後押ししてもらった気持ちです。資本主義で自由競争の社会ですが、お米にしても薬にしても、命に係わる重要なものはその流通の仕組みに国は責任を持ってほしいものです。

捨てられる薬のことにもっと注目されるべきだと思います。OTC以前に考えるべき問題だと思いました。

◆時事問題講座 9月9日

「薬について基礎から社会問題まで」 講師：小林知佐氏

受講生の大半の方々は、何がしかの薬、サプリメントを飲んでおられるようでした。始めに薬の使用方法について。薬を効かせるには薬の「血中濃度」を一定に保つことが必要であり、飲み薬には胃で溶ける、腸で溶ける等の仕掛けがしてあります。①服用するときは決められた回数、量を守る。②錠剤は噛み砕いて服用したり、カプセルを外して中身だけを服用してはいけません。③薬はコップ1杯の水で飲む（薬を胃に落とし込む為）。副作用が出たら、すぐに医師・薬剤師に相談しよう。

日本ではポリファーマシー（薬をなす多用服用）の現象が起きていて、残薬は年間500億円にもなっている。このようなことが起こらない為にも、かかりつけ薬局、お薬手帳を持つことが良い。サプリメントについては、リテラシーを高めて、試す価値はあるが「絶対に効果がある」と信頼しきってはいけないし騙されないようにすることが大事。また、若者の間でオーバードーズ（過量服薬）も非常に心配な問題だ。主食、主菜、副菜を揃えたバランスの良い食事を取り、体と心を健康に保つことを心掛けることが基本です。

と、私たちの薬に対する正しい認識を丁寧に分かり易く講義いただきました。受講生のみなさま、この講義を熟知して、より良き人生を楽しみましょう。

◆写真講座 9月16日

「花束やアクセサリーの撮影」 講師：四方智基氏

写真屋さんのスタジオで写真を撮るときはあちこちから照明が当たったり、背景もきれいな大きな布？がかけられていたり、邪魔なものが映ったりもしないし…なのですが、それを私たちが自分で工夫してできるものなのか。四方先生は「これは100均で売っているもの」「これはホームセンターで」「これは普通の模造紙です」と。私たちが難なく手に入れやすい物で照明や背景をセットして、小物・花やアクセサリーの撮影を行いました。「メルカリで売れる写真」を撮ろうと受講生の皆さんに用意してもらった小物も、品の置き方や照明に注意しながらパシャリ。

夏休みの宿題に出されていた「花火」の写真は、ちゃんと課題に取り組めた方は少なかったのでしょうか。小学生なら先生に怒られる！ドキドキの2学期の始まりです。



ちょっとアドバイスをもらっただけで全然違うものが撮れてうれしかったです。でき上がりが楽しみ。

花や小物にライトを当てる。水滴をつける。いろいろ演出してみると面白いことが分かりました。家でもやってみたいと思います。

初めて三脚を使って撮影しました。良い経験になりました。暗い部屋で照明を使っでの撮影が意外な発見でした。

◆歴史講座 9月17日

「京都府北部の古墳について」 講師：岸岡 貴英氏

地域の歴史が興味深かった。上手な話で楽しく拝聴できました。



写真や地図等の資料をたくさん見せて頂きながら、丁寧に説明していただいたので、大変よくわかりました。

また、ご自分のこれまでの発掘体験や実生活での経験などを織り交ぜながらお話いただいたので、大変身近なお話としてお聞きできました。

丹後王国が平城京の時代であろうなど、研究成果がわかりやすく説明された。

古墳を題材とした講座はこれまでも何回かありましたが、今回は「歴史・文化・景観を古墳から考えてみる」というサブテーマで、少し違った切り口の講義でした。

綾部の私市円山古墳、福知山の広峰15号墳や網野の銚子山古墳などを具体例に、なぜその場所が選ばれたのか、景観の視点、河川水利の視点からの解説がありました。

古墳についての解説はもとより、それと併せて、講師の発掘に関わってこられた経験の話も大変おもしろいものでした。発掘作業にはたくさんの水が不可欠で、水を確保できない山の中の現場だと、人力で大量に運ぶという大変な作業が付随してくるなど、私たちが知らない現場ならではの苦労話も聞かせてもらいました。

最後に、丹後郷土資料館が令和8年度末にリニューアルしてオープンとなるので是非来てくださいとの案内で講義終了となりました。





◆北近畿探訪講座 9月24日
「「気象は常に異常である」 講師：川邊昭治氏

偏西風の谷と尾根に関して、太平洋高気圧、シベリヤ高気圧等、大きな高気圧が大まかな気候を作っていることを理解しました。各地の平年値を較べて、面白かった。

大変おもしろかった。地球の変化の様子は、宇宙の変化に影響を受けているのかなと思いました。

今回の講座は、レジメの冒頭にあるように異常気象の話ではありません。昨今の異常気象は原因として温暖化、特に海水温の上昇によるものが主なものとしてあげられます。(温暖化の原因としてはCO₂の増大があげられています。本講座では、気象が異常であるということが通常であることを強調されました。地球全体がどの地域でも同じ条件に位置している訳ではないので、北極と赤道周辺では太陽から受ける熱の量は、単位面積で比すると赤道周辺では大きく、北極周辺では少なく、気候は差が生じてきます。その上に地球の地軸がわずかに傾くだけでもその差は大きいということです。地球は回っていますから偏西風もでき、地形、特に山脈や高原地帯は気流に影響を与え、偏西風は流れの谷や尾根が形づくられ、気候にはおおきな影響を与えるということです。

今年は梅雨が殆どない年となりましたが、チベット高原(平均 4,000 m)、ヒマラヤ山脈、インド洋が関係しあって、遠くにある日本にまで影響を及ぼしていることを学びました。気候などの自然界は常にバランスをとろうとするそうですが、地球沸騰化(福知山でも 40℃を超えた時がありましたので敢えてこの表現に)で、どうなるのでしょうか。

◆漢字学講座 9月25日
「常用漢字の非常用の意味」 講師：久保裕之氏

まず、台湾で使われている外来語の紹介から。漢字から想像してみよう!

①熱狗②三明治③蛋黄醬④千島醬⑤清湯、濃湯 等々

正解は、①ホットドッグ②サンドイッチ③マヨネーズ④ドレッシング⑤コンソメスープ、ポタージュスープ。どうでしょう 想像出来ましたか?

さて、今日の本題。常用漢字表内の熟語にふさわしい訓読み。例えば、彩色の「彩」は、(いろどる)。捕捉の「捉」は、(とらえる)。なので、同じ意味を、重ねた熟語。こうする事で、意味がより分かりやすくなる。常用漢字表内の漢字は漢検 2 級レベルまでの漢字で、まだ読みやすいのですが、常用漢字外の漢字 例えば、亜熱帯の「亜」は、(つぐ)。熱帯につぐ熱い地帯だから。(なるほど!)。嫌悪の「悪む」は、(にくむ)。儉約の「儉しい」(つつましい)。資生は、「資ける」(たすける)なので、資生堂は、人を助ける商品を作るとか...

放縦の「縦」は、(たて)と読むのではなくて、(ほしいまま)。

点滅の「点」は、「点く」(つく)で、点火の場合は、「点す」(ともす)、点眼は、「点す」(さす)、点検は、「点べる」(しらべる)。

与党の「与」は、与えるの意味ではなく、「与かる」(あずかる)の意味。日本の与党は、そう言った認識が果たしてあるのかなあ?と思ったりして...

振替受講で初めてでした。あっという間に時間が過ぎて大変楽しく受けました。

和語を読みおこすという本日の講座は大変興味深く良い頭の体操になりました。漢検 1 級レベル以上の漢字は難しかったです。

次の熟語にふさわしい訓読みを記せ (常用漢字表外の読みです)

①革命 革まる	③詰問 詰る
②格言 格る	④根拠 拠る
⑤比較 較べる	⑥虚無 虚ろ
⑦威嚇 嚇す	⑧発狂 狂れる
⑨一括 括る	⑩凝固 凝る
⑪寛大 寛い	⑫均等 均す
⑬文歓 歓ぶ	⑭啓発 啓く
⑮循環 環る	⑯劇薬 劇しい
⑰企図 企む	⑱研鑽 研く
⑲模擬 擬い、擬き	⑳儉約 儉しい

次の熟語にふさわしい訓読みを記せ (常用漢字表外の読み)

①謙遜 謙る	51閉鎖 鎖す
②顕在 顕らか	52述懐 懐く
③玄武 玄い	53削減 削ぐ
④固有 固より	54相殺 殺ぐ
⑤更衣 更える	55算定 算える
⑥肯定 肯う	56私淑 私か
⑦荒廃 荒ぶ	57資生 資ける
⑧購買 購う	58質問 質す
⑨号泣 号ぶ	59樹立 樹てる
⑩墾田 墾く	60報酬 酬いる

熟語は読めても訓読みが読めなくて熟語の意味を追っても読めなくて、本を読んでも忘れたり覚えていない漢字も飛ばすなど漢字離れも甚だしい...

◆寄席芸鑑賞講座 9月11日

「落語の仕組み」(ふりから落まで) 講師:今井洋之氏

◆笑いの作り方

全ての笑いは共通認識から。誰でも分かるシチュエーションを題材にすること。

例えば、コンビニ店員と客、医者と患者、先生と生徒、等々。その関係性が予想もつかない意外な展開をする事による笑い。客にため口を使う店員だとか、患者をお客様と呼ぶ医者。(ありえない笑い)

設定するものは、時代 場所 登場人物 ストーリー。

構成は、起承転結に分けて考える必要はない。

まずは、①登場人物の紹介 ②システムの説明 ③本編(3分2を占める) ④オチ。

落語台本の特徴は、会話のみ。ト書きを書かない。

落語台本の難しいところ ①絵がないので、状況を言葉だけで表さなければならない ②戻れないので登場人物を早い段階で認識してもらう必要がある ③一人で演じるので、登場人物は、3人位が限度かなあ…(同じ性別、年齢が一緒の人の会話は、分かりにくい)

◆小噺について

演目に入る前にお客様をリラックスさせるもの。本編の導入としてのもの(マクラと呼ばれる) ①常識の裏切り ②倫理のすり替え ③情報の後出し ④だじゃれ 等で、笑いを取る。

◆それでは、「小噺を作ってみよう。」

小学校に呼び出された保護者と言う設定で。

親「いつも息子がお世話になっております。」

先生「いえいえ、さあ、そちらにお座りください。」

親「ありがとうございます。で、ウチの息子が何か？」

この後を考えましょう！と言う事で、5~6人のグループに別れて小噺作りにチャレンジ。さすが寄席芸好きの皆さん。どのグループも素晴らしい発想で、爆笑。大いに沸きました。いやあ〜頭使いました…。皆さんならどの様な展開を、考えますか？



丁寧な資料で落語の笑いについて台本の基本や特徴について、知らなかった事を知った感じで面白く、また落語に興味が湧きました。

落語台本についてよく分かり面白く学べました。かと言って自分で書こうという思いには至りませんが…すごく難しいこともよく分かりましたし。最後に実践が特に楽しかったです。

面白かったですし、難しかったです。落語は本当に想像力があるので、勉強になりました。

みんなで考えた小噺をするのが楽しかったし、又この講座を受けている人の素晴らしさを感じました。

